

環境教育・学習の推進

環境教育・学習の推進に向けて

今日の環境問題は、地球規模に及ぶ空間的広がりと将来の世代にわたる時間的広がりを持っています。このような理解や認識に立って、問題の本質や解決の方法について一人ひとりが考える能力を身につけるとともに、環境問題に取り組んで人材を育てていくことも求められており、このために環境教育が重要となっています。

そのため、それぞれの主体（市民・事業者・行政）で現状の認識と問題解決の意識を共有し、高めていくとともに、環境教育を通じて、人と環境との関わりについての正しい認識に立ち、一人ひとりの責任ある行動をもって、持続可能な社会づくりに主体的に参画できる人材を育成することをめざして、「環境教育・学習の推進」「環境団体の育成」を推進していきます。

環境みらい像

環境教育・学習の推進

「環境の大切さを学ぶまち」

環境への取組み

- 環境教育・学習の推進
- 環境団体の育成

平成 23 年度「環境を守ろう」コンクール 作文の部 金賞作品

環境のためにぼくができる事

太田小学校 6年 折井 仁

ぼくは、環境を守るために、毎日かかさずエコ活動を行っています。学校では、ISO活動について勉強しました。電気をこまめに消したり、歯ミガキの時は、水を流しっぱなしにしないように気をつけています。つめかえのできるシャンプーや洗ざいを買ったり、新聞紙・牛乳パック・ペットボトル・アルミ缶のリサイクルもしています。住んでいる地区の廃品回収にも参加し買い物に行く時はマイバックも持って行きます。きっとこのような活動は、たくさんの人が行っていると思います。

夏休みになり、ぼくはおじいちゃんちへ遊びに行きました。その時、とても面白い装置を見せてもらいました。ぼくのおじいちゃんは、昔、温水器の開発をする仕事をしていました。これは、管に水を通しておき、太陽の熱でお湯に変え、お風呂や食器洗いに利用する装置です。おじいちゃんちの屋根の上にはこの装置が取り付けられているのです。お風呂に入った時にそのお湯にさわってみました。熱湯に近い位、熱かったです。

ニュースや新聞で環境がどんどん悪くなっている事を知りました。今よりもっとたくさんのおエコ活動が必要になってきます。ぼくは今までの節電やリサイクルというエコ活動を続けながら、おじいちゃんのような自然のエネルギーを上手に活用する方法も、とても大切だと思いました。今はまだ具体的な方法は思いつかないけれど、これからの生活の中でいつも考えながら見つけていきたいと思っています。

かけがえのない美しい星「地球」とぼくたちの子孫のためにどんなに小さいことでも、今できることをぼくはコツコツと続けて行こうと思っています。

平成 23 年度「環境を守ろう」コンクール 作文の部 金賞作品

七色の羽が伝えたいこと

休泊中学校 3年 小澤南々子

「そういえば、生きてるタマムシって見たことないな。」

たまたま放送していた法隆寺の特別番組を見ながら、私はふとこんな事を呟いていた。

テレビ画面に映っているのは「玉虫厨子」。この輝きは、四千五百以上ものタマムシのさや羽から生み出されているそうだ。私がタマムシを目にする機会は多い。とは言っても、それはテレビ画面や図鑑のページ上での話だ。私が生きたタマムシを目撃したことは、一度もないように思う。

そんな私の呟きを聞いた母は、さも意外そうにこう言った。

「そっか、一回も見たことないんだっけ。昔はこの辺りにも普通にいたのに。」

どうしてだろうね、と言いつつも、母は掃除に熱中し始め、会話はそこで終了となった。

しかし、私の中では、このやりとりはまだ終わってはいなかった。一体、なぜタマムシはこんなにも珍しくなってしまったのだろうか。

数年ぶりに昆虫図鑑を持ち出し、タマムシの生態を調べてみた。すると、タマムシは、エノキやケヤキなど、広葉樹の朽木に卵を生みつけ、幼虫はその木を食べて成長するという。成虫となると、今度はエノキの葉を食べて生活するらしい。全ての地においてエノキの木に温存しているため、エノキのない寒い土地では成育できないとも聞いたことがある。

私の住んでいる辺りは、昔は空き地が多く、草木が生い茂っていた。だが、最近は、その空き地に次々と家が建ち、緑がめっきり少なくなってしまった。それに、庭に植えられる木は、たいていの場合、枯れると撤去されてしまう。倒れたりしたら危険だからだ。

木が減ってしまえば暮らしにくいし、幼虫のエサとなる朽木もない。

結果的に、タマムシの住める場所は、人里離れた所へと限定されてしまうのだ。彼らは好んでここからいなくなったのではない。私達のせいで、ここでは暮らせなくなったのだ。

今、世界では、多くの生き物達が住処を追われ、姿を消している。それと同じことが、私のすぐ近くでも起きているのだ。

最近問題になっている環境破壊や地球温暖化。実は、私はそれらを「どこか遠くのできごと」として見ていたのだ。だが、今回のことを考えてみて、これは自分達と無縁ではないのだ、という事を改めて実感した。

思っているよりずっと身近で、そしてずっとはやくから、私達の周りの環境は変わりはじめているのだ。

タマムシは、私に大切なことを思い出させてくれた。もしかすると、彼らは、ここを去る時、人間に警告してくれていたのかもしれない。「このままだと危ないぞ。」と。

キラキラと七色に輝く羽を持った彼らを、もう一度ここで見られることを願い、この町の緑を守ってゆきたい。私は強くそう思った。

環境教育・学習の推進

太田市では、協働による『環境教育・学習』を積極的に推進していきます！



●太田地球環境を守る会 ソーラークッカー体験教室（太陽光でゆで卵づくり）

太田市のかけがえのない環境をまもり未来へ引き継いでいくためには、みんなが環境に関心を持ち、学び、進んで行動することが大切です。

子どもから大人まで、あらゆる年代の人がみんなに参加して、家庭や地域、学校、職場などさまざまな場面で環境教育・学習を推進していきます。

特に太田市では、『太田こども環境ISO』、『学校ISO活動』の推進や『こどもエコクラブ』の拡大を図って参ります。

太田こども環境 ISO

子どもを対象とした環境学習・環境教育の推進と幼稚園・保育園における環境管理を一体的に推進していきます。



学校 ISO 活動

太田市教育委員会は、小・中学校、養護学校、商業高等学校において環境教育を推進し、環境を大切にし、より良い環境づくりや環境保全を考えて実践の出来る子どもを育成しています。



こどもエコクラブ

こどもエコクラブとは？

「こどもエコクラブ」(Junior Eco-Club)は、小・中学生なら誰でも参加できる環境活動のクラブです。

こどもエコクラブって何をするの？

子どもたちの興味や関心に基づいて、自然観察・調査やリサイクル活動など、地域の中で身近にできる環境活動に自由に取組みます。



平成 23 年度
「環境を守ろう」コンクール
ポスターの部 金賞作品
城東中 1 年 嶋田 有紗

具体的な行動

市民

- ・環境を踏まえた生活や行動を心がけます。
- ・環境家計簿の学習会やイベントなどに積極的に参加します。
- ・地域の環境保全活動に参加します。
- ・ボランティアなど協働活動に参加します。
- ・テレビやインターネットなどで環境関連情報を入手します。

事業者

- ・従業員に対する環境教育を推進します。
- ・専門的な情報を提供します。
- ・事業活動の環境に配慮します。
- ・環境学習の場の提供や支援を行います。
- ・地域の環境保全活動に参加します。
- ・環境レポートを発刊します。
- ・環境配慮型技術の研究開発を行います。

行政

- ・地球温暖化、省エネ、省資源について学校で環境教育を行います。
- ・環境学習を計画的、総合的に推進します。
- ・情報を提供します。
- ・普及啓発します。
- ・環境学習や自主的活動を支援します。
- ・活動の場を整備します。
- ・情報交換や交流の場を提供します。
- ・こども環境ISOや学校ISOを推進します。
- ・環境ISOを推進します。
- ・条例の制定や環境基本計画の策定をします。
- ・個別施策を展開します。
- ・各主体とのパートナーシップの構築（協働化の仕組みづくり）をします。

環境団体の育成

環境活動に参加しやすいネットワークをつくります！



●ソーラートレイン（環境フェア）

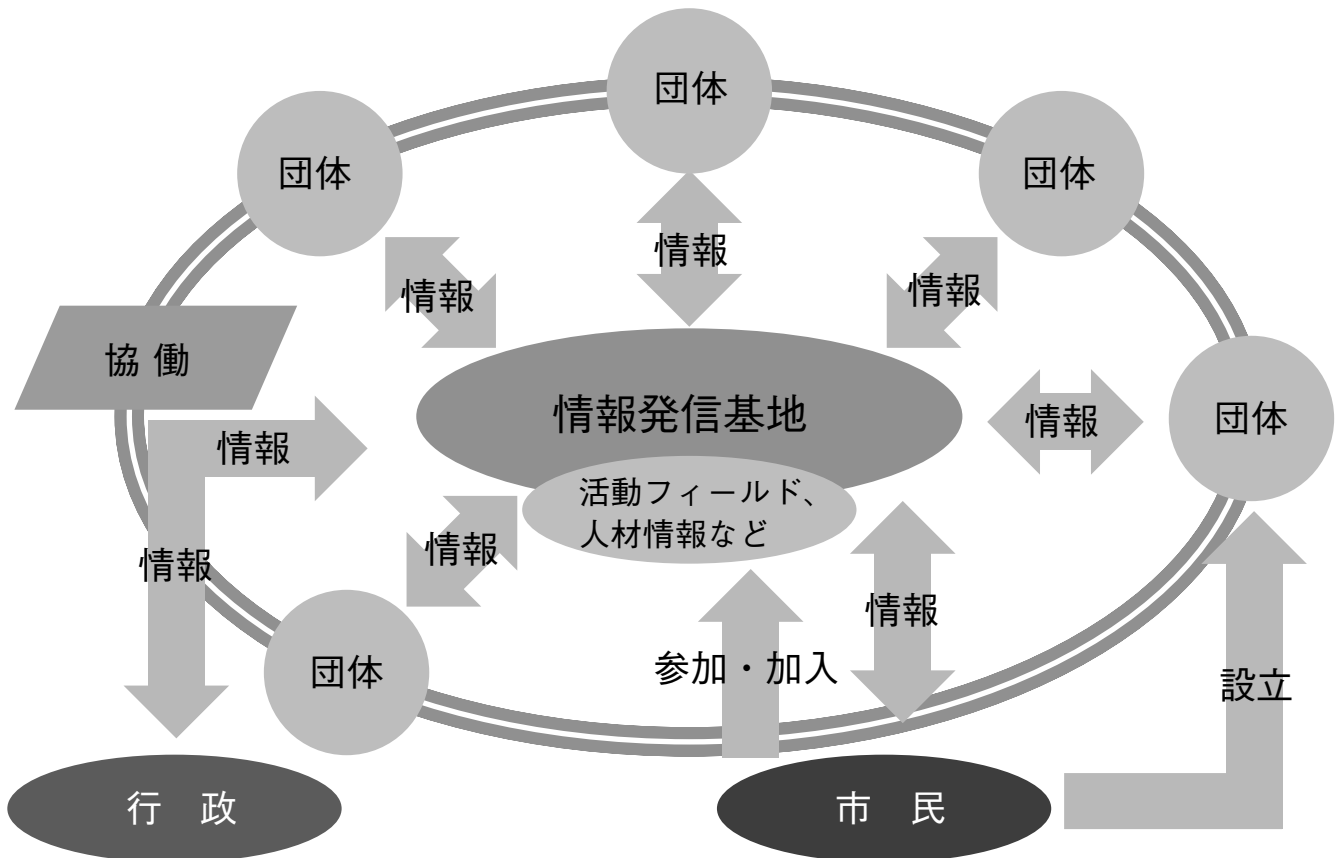
太田市では、市民が環境活動に参加しやすい環境をつくるために、市民一人ひとりが環境に関する多様な意識や条件に対応した支援ができるように推進体制を構築することが重要です。

これまでも、環境維持・保全・教育・学習の推進に関わる人材の育成やボランティア活動への支援、環境フェアなどの開催をしてきましたが、さらに充実させる必要があります。それらは、環境団体のネットワーク化、環境ボランティア活動に関する情報の一元化、情報提供を行うことにより、活動に参加を希望する市民が、情報の受信、活動団体やリーダーとの交流を円滑に行えるように体制を整えていきます。

環境ネットワークの構築に向けて

- ・環境保全活動の実態調査及び意見交換会や情報交流会などを主催します。
- ・市役所などの公共施設を開放します。
- ・市広報誌やホームページなどに情報を掲載します。
- ・人材バンクやシルバー人材の登録制度を整備します。
- ・環境保全活動のリーダーを育成します。
- ・環境保全活動団体などへの支援や表彰制度の整備を行います。

環境ネットワークのイメージ



●天然ガス自動車の展示（環境フェア）



このネットワークに、より多くの市民の皆さんに参加していただき、環境活動の輪をより大きく広げ、自然と人に優しい“太田市”を築いていきたいと考えています。
皆さんの積極的な参加をお願いします。

